|  |  |
| --- | --- |
| SAP Concur リリース ノート  製品共通の変更  以下の製品間およびサイト全体の変更が含まれます。 Professional Edition、Standard Edition、および Small Business Edition | |
| **月** | **対象** |
| リリース日: 2022 年 3 月 19 日  英語版の投稿： 2022 年 3 月 18 日 金曜日 | SAP Concur をお使いのお客様 – 最終版 |

目次

[リリース ノート 1](#_Toc98939392)

[ファイル転送のアップデート 2](#_Toc98939393)

[\*\* 進行中 \*\* ファイル転送のためのローテーション PGP 鍵 2](#_Toc98939394)

[Travel、Expense、Invoice、Request、Intelligence | Professional & Standard 2](#_Toc98939395)

[その他 4](#_Toc98939396)

[\*\* 進行中 \*\* SAP Concur ホームページの変更 4](#_Toc98939397)

[Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard 4](#_Toc98939398)

[\*\* 進行中 \*\* SAP Concur の AWS クラウド プラットフォームへの移行 7](#_Toc98939399)

[すべての製品 | すべての Edition 7](#_Toc98939400)

[製品設定 9](#_Toc98939401)

[詳細表示と基本表示を [製品設定] に追加 9](#_Toc98939402)

[Expense、Invoice、Request | Standard 9](#_Toc98939403)

[SAP Concur サポート 11](#_Toc98939404)

[提案ソリューションの移行 11](#_Toc98939405)

[すべての製品 | すべての Edition 11](#_Toc98939406)

[セキュリティ 13](#_Toc98939407)

[一部の TLSv1.2 暗号が非サポートに（2022 年 2 月 1 日） 13](#_Toc98939408)

[Travel、Expense、Invoice、Request | すべての Editions 13](#_Toc98939409)

[推奨環境 20](#_Toc98939410)

[Internet Explorer 11 のサポートの変更 20](#_Toc98939411)

[Travel、Expense、Invoice、Request、Analysis/Intelligence | すべての Editions 20](#_Toc98939412)

[テスト エンティティ | 運用サンドボックス環境 22](#_Toc98939413)

[\*\* 進行中 \*\* 未移行の [最近使用されたもの] リスト 22](#_Toc98939414)

[Expense、Invoice、Request | Professional 22](#_Toc98939415)

[\*\* 進行中 \*\* 運用サンドボックス環境のログイン更新 24](#_Toc98939416)

[Expense、Invoice、Request | Professional 24](#_Toc98939417)

[\*\* 進行中 \*\* PSE メール照合に必要な一意のアドレス 26](#_Toc98939418)

[Expense、Invoice、Request | Professional 26](#_Toc98939419)

[Web サービス管理者 29](#_Toc98939420)

[アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードの文字数の要件の更新 29](#_Toc98939421)

[Expense、Request、Web サービス | Professional & Standard 29](#_Toc98939422)

[今後の変更予定 32](#_Toc98939423)

[FAX 機能 32](#_Toc98939424)

[\*\* 変更予定 \*\* FAX 機能の廃止 32](#_Toc98939425)

[Expense、Invoice | Professional & Standard 32](#_Toc98939426)

[ヘルプ メニュー 33](#_Toc98939427)

[\*\* 変更予定 \*\* ヘルプ メニュー下のリソースを集約 33](#_Toc98939428)

[すべての製品 | すべての Edition 33](#_Toc98939429)

[プロファイル設定 34](#_Toc98939430)

[\*\* 変更予定 \*\* 自分のプロファイル、ホーム ページ、およびプロファイル メニューの変更 34](#_Toc98939431)

[Travel、Expense、Invoice、Request、Mobile | Professional & Standard 34](#_Toc98939432)

[シングル サインオンの管理 40](#_Toc98939433)

[\*\* 変更予定 \*\* SSO サインイン オプションを非表示にするためのチェックボックス 40](#_Toc98939434)

[Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard 40](#_Toc98939435)

[\*\* 変更予定 \*\* IdP メタデータへの URL の設定オプションを削除 41](#_Toc98939436)

[Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard 41](#_Toc98939437)

[ユーザー支援 42](#_Toc98939438)

[\*\* 変更予定 \*\* SAP Enable Now のサポート 42](#_Toc98939439)

[Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard 42](#_Toc98939440)

[お客様へのお知らせ 44](#_Toc98939441)

[アクセシビリティ 44](#_Toc98939442)

[アクセシビリティの強化 44](#_Toc98939443)

[サブプロセッサ 44](#_Toc98939444)

[SAP Concur の非提携サブプロセッサ 44](#_Toc98939445)

[サポートされているブラウザ 44](#_Toc98939446)

[サポートされているブラウザおよびサポートの変更 44](#_Toc98939447)

[リリース ノートおよびその他の技術文書 45](#_Toc98939448)

[オンライン ヘルプ 45](#_Toc98939449)

[SAP Concur サポート ポータル - 指定されたユーザー 46](#_Toc98939450)

法的免責事項

この提示物の内容は、SAP SE または SAP の関連会社の機密の専有情報であり、SAP SE またはそれぞれの SAP の関連会社の許可なく開示することはできません。この提示物は、SAP SE またはその関連会社とのライセンス契約またはその他何らかのサービス契約やサブスクリプション契約に拘束されることはありません。SAP SE およびその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE または SAP の関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE およびその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。このドキュメントは、商業性、特定目的への適合性、または非侵害性の黙示的保証を含めて、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証をも伴うものではありません。このドキュメントは情報提供のみを目的としており、契約に取り入れられることはありません。SAP SE およびその関連会社は、SAP SE または SAP の関連会社の意図的な不当行為または重大な過失に起因する損害を除き、このドキュメントの誤記または脱落について一切の責任を負わないものとします。

将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

# リリース ノート

このドキュメントには、製品共通のリリース ノートおよび変更予定が記載されています。製品共通のリリース ノートおよび変更予定は、SAP Concur ソリューションのサイト全体、または複数の SAP Concur 製品やサービスに適用される機能および変更を文書にしたものです。この内容には以下が含まれます。

* セキュリティ証明書の年次更新やセキュリティ暗号およびプロトコルのサポートにおける変更などのセキュリティ関連機能および変更
* ホーム ページの変更、サイト ヘッダーやフッターの変更、サイト全体に適用される新規 UI テーマなどのサイト全体の UI 機能および変更
* サインイン機能の追加または削除、URL の変更やドメイン名の変更などのサインイン プロセスの機能および変更
* 運用およびテスト環境の機能および変更
* サイト全体の新規設定の追加、管理ページのデザインへの変更などのグローバル設定または管理ページの機能および変更
* リリース ノートが発行される場所や時期などのプロセスの変更

単一の製品やサービスに適用される新しい機能および変更については、その製品またはサービスのリリース ノートをご参照ください。製品およびサービス固有のリリース ノートのリンクは以下のページに掲載されています。

* [Professional Edition](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/_RN_CCC.htm)
* [Standard Edition](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Current_jp/_Docs_CCC_JAPAN.htm)
* [Small Business Edition](http://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Docs/Breeze/RN/WhatsNew.htm)

## ファイル転送のアップデート

### \*\* 進行中 \*\* ファイル転送のためのローテーション PGP 鍵

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 2 月 | 2022 年 1 月 21 日 | 2021 年 1 月 15 日および 2022 年 10 月 11 日 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request、Intelligence | Professional & Standard

#### 概要

SAP Concur 製品に転送するファイルは、SAP Concur の PGP 公開鍵 concursolutionsrotate.asc で暗号化する必要があります。

concursolutionsrotate.asc

* 鍵ファイルはお客様のルート フォルダに置かれています
* 鍵 ID 40AC5D35
* RSA 4096 ビットの署名および暗号化サブ鍵
* 鍵の有効期限は 2 年ごとです
* 有効期限が切れる前に鍵を交換する必要があります
* 次の期限: 2022年9月4日
* SAP Concur では、お客様のルート フォルダ内の現在のローテーション PGP 公開鍵を有効期限の 90 日前に交換する予定です

SAP Concur の従来の PGP 鍵（鍵 ID D4D727C0）は 2022 年 10 月 11 日に廃止されます。その日付までにローテーション PGP 鍵の使用を切り替える必要があります。従来の PGP 鍵で暗号化されたファイルは、2022 年 10 月 11 日以降は処理されません。

このお知らせは、次のファイル転送 DNS エンドポイントに関するものです。

* st.concursolutions.com
* mft-us.concursolutions.com
* vs.concursolutions.com
* st-eu.concursolutions.com
* mft-eu.concursolutions.com

##### 業務目的とユーザーへの利点

ローテーション PGP 公開鍵により、ファイル転送のセキュリティが強化されます。

#### 管理者への表示

必要なファイル転送資格情報を有する管理者がファイル転送サイトにログインして、ルート ディレクトリからローテーション PGP 公開鍵 concursolutionsrotate.asc を取得できます。

#### 設定とアクティブ化

社内のファイル転送管理者が PGP の鍵束に鍵を追加することで、この鍵を使用して、SAP Concur に転送するファイルを暗号化できます。

支援が必要な場合は、SAP Concur サポートまでお問い合わせください。

さらに詳しい情報は、ユーザー ガイド「[お客様やベンダー向けのファイル転送（製品共通）](http://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Current_jp/Guides_Exp/UG_Exp/Shr_UG_FileTransfer-jp.pdf)」をご参照ください。

## その他

### \*\* 進行中 \*\* SAP Concur ホームページの変更

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 10 月 8 日 | 2022 年 1 月 14 日 | 2021 年第 4 四半期、2022 年 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard

#### 概要

2021 年の第 4 四半期に、SAP Concur は、米国データセンターのお客様を新しいホーム ページにリダイレクトし始めています。新しいホームページの外観は、以前の SAP Concur のホームページと同様になります。新しいホームページでは、サービスが一時的に利用できなくなった場合の機能が強化されています。

新しいホームページは段階的に運用開始されます。

**フェーズ 1:** 第 4 四半期の初めに、SAP Concur は米国データ センターの Concur Expense、Concur Invoice、および Concur Request のお客様を新しいホームページにリダイレクトし始めました。

**フェーズ 2:** 2021 年 12 月、SAP Concur は欧州データ センターの Concur Expense、Concur Invoice、および Concur Request のお客様を新しいホームページにリダイレクトし始めます。

**フェーズ 3**: 2022 年第 2 四半期では、SAP Concur は、米国と欧州のデータセンターの残りのお客様を新しいホーム ページにリダイレクトすることを計画しています。残りのお客様には Concur Travel を単独でお使いのお客様や Expense、Invoice や Request と併せて Concur Travel をお使いのお客様が含まれます。

##### 業務目的とユーザーへの利点

この変更により、一部のサービスが利用できない場合でも SAP Concur ホームページを確実に利用できるようになり、サインイン操作の一貫性が向上します。

#### ユーザーへの表示

以前のホームページでは、ユーザーが SAP Concur 製品にサインインすると、ホームページが表示されます。

1. ホームページの外観は、お客様に対して有効になっている製品とサービス、およびユーザーに割り当てられている権限によって異なります。



他の製品やサービスが稼働しているときに一部の製品やサービスが利用できない場合、次のように変更されたホームページが表示されます。



新しいホームページに移行後、複数のサービスが利用できない場合、ユーザーが SAP Concur 製品にサインインすると、通常のホームページが表示されます。ただし、ユーザーが利用できないサービスのページに移動すると、次のようなページが表示されます。



新しいホームページへの移行後、すべてのサービスが利用可能な場合、この変更はユーザーに透過的であり、移行前と同じホームページが表示されます。

**ホームページの例**



#### 設定とアクティブ化

この変更は自動的に有効になります。設定やアクティブ化は必要ありません。

### \*\* 進行中 \*\* SAP Concur の AWS クラウド プラットフォームへの移行

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 2 月 18 日 | 2022年03月18日 | 2022 年 進行中 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

すべての製品 | すべての Edition

#### 概要

SAP Concur では、すべての機器を SAP Concur が所有する完全にプライベートなクラウド運用からクラウド プラットフォームに移行する計画です。また、Amazon Web Services (AWS) で実装されているクラウド プラットフォームを優先し、自社データ センターを閉鎖する予定です。このプロセスは 2017 年に開始し、北米および EMEA のデータ センターについては、2022 年の移行の最終段階に注力しています。

##### 業務目的とユーザーへの利点

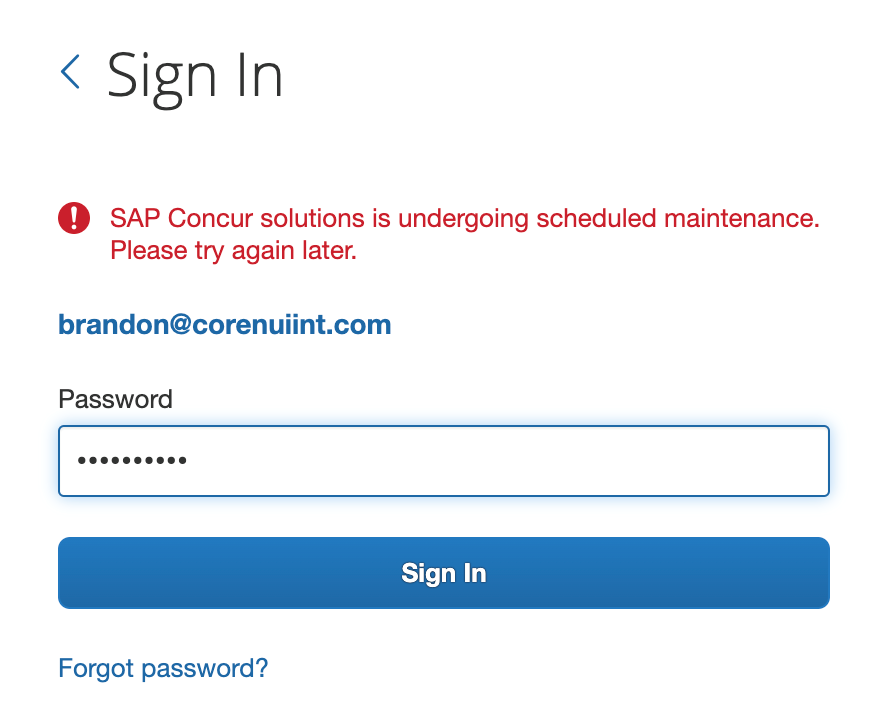
この変更により、セキュリティが強化され、パフォーマンスおよび安定性が向上するとともに、お客様に対して迅速に革新を進めることができます。

#### 移行時のユーザーへの表示

ある企業が SAP Concur の自社データ センターからクラウド プラットフォームに移行されている間、その企業のエンド ユーザーは SAP Concur ソリューションを利用できなくなる場合があります。

進行中の移行プロセス期間にエンド ユーザーが SAP Concur ソリューションにサインインを試みた場合、サインインできなくなる可能性があり、

「SAP Concur ソリューションは定期メンテナンス中です。後ほどお試しください。」というメッセージが表示されることがあります。



会社が移行されているときにエンド ユーザーが SAP Concur ソリューションで作業をしていると、サインイン ページに戻ることがあります。

1. SAP による移行は、週末や営業時間後に実施される予定です。

#### 設定とアクティブ化

この変更は自動的に行われます。

詳細は、「[SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ](http://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_Cloud_Hosting_Strategy.pdf)」をご参照ください。

## 製品設定

### 詳細表示と基本表示を [製品設定] に追加

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 1 月 21 日 | 2022年03月11日 | 2022年03月11日 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Expense、Invoice、Request | Standard

#### 概要

[製品設定] で基本表示と詳細表示を切り替えられるようになりました。

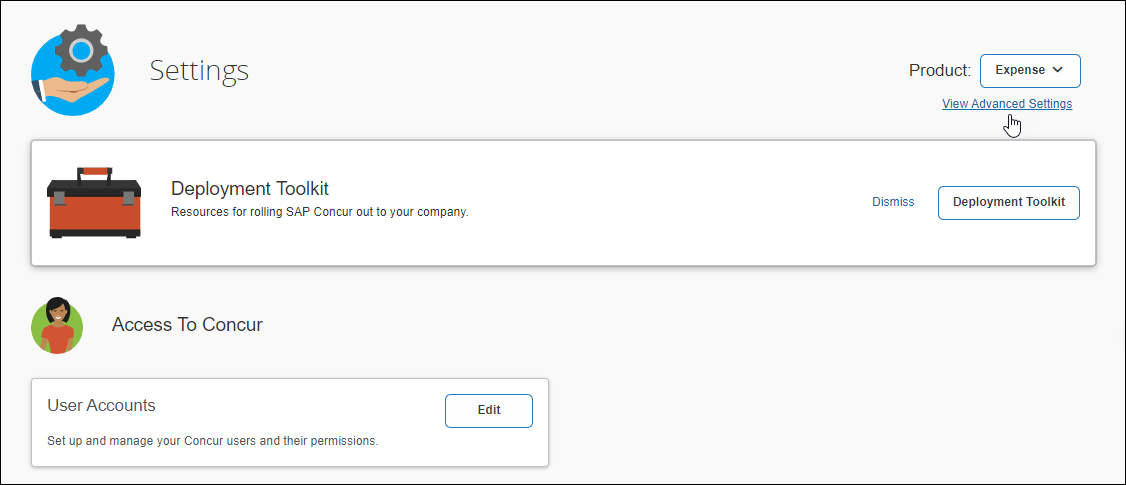
この変更前は、[製品設定] で基本設定と詳細設定を切り替えるには、SAP Concur の社内管理者のサポートが必要でした。

##### 業務目的とユーザーへの利点

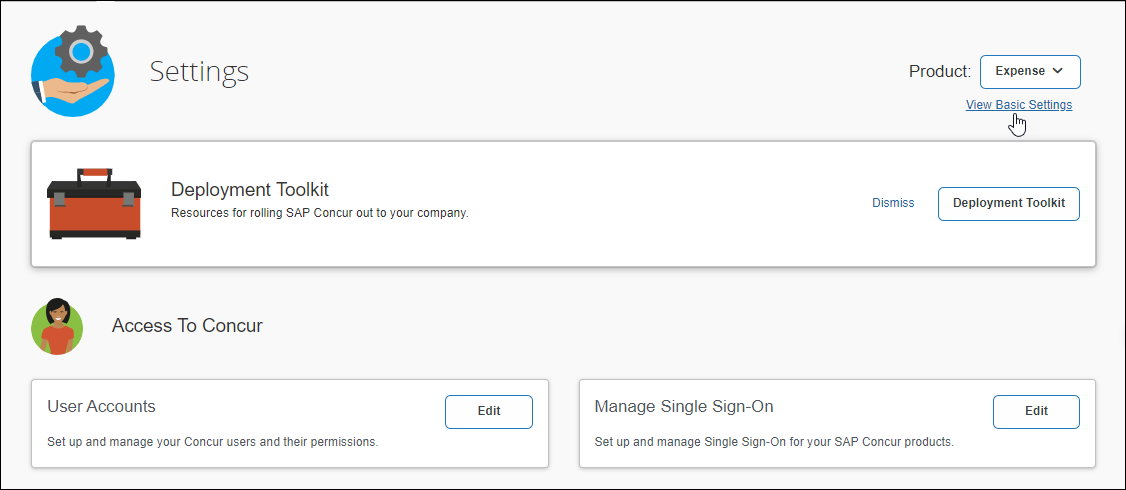
この変更により、お客様の管理者は SAP Concur の担当者のサポートを必要とせずに、目的に応じて詳細設定を表示したり、非表示にしたりすることができます。

#### 管理者への表示

管理者が [製品設定] に移動すると、**[製品]** メニューに **[基本設定を表示]** または **[詳細設定を表示]** リンクが表示されます。リンクをクリックして、この 2 つの表示を切り替えることができます。



**[詳細設定を表示]** をクリックすると、詳細タイルが **[製品設定]** ページに表示され、**[製品]** メニューのリンクが **[基本設定を表示]** に変わります。**[基本設定を表示]** をクリックすると、詳細タイルが非表示になります。



1. 詳細表示に表示される設定タイルは設定によって異なります。

多くの場合、管理者が表示を変更する際に、SAP Concur ソリューションからサインアウトして、再びサインインしたり、SAP Concur ソリューション内のページを変更したりすると以前選択した表示が残りますが、[製品設定] に戻ると選択した表示が表示されます。

管理者が concursolutions.com の機能性クッキーを受け入れない場合やブラウザのキャッシュからクッキーを消去する場合は、次回 SAP Concur ソリューションにサインインした際に、既定の表示にリセットされます。

機能性クッキーを有効および無効にする方法については、「[Cookie Preferences and User Consent](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Docs/FactSheets/Cookie_Prefs.pdf)」ファクト シートをご参照ください。

#### 設定とアクティブ化

この変更は自動的に有効になります。設定やアクティブ化は必要ありません。

[製品設定] に関する詳細は、設定ガイド「[Concur Standard Edition: Product Settings（製品共通）](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Docs/ConcurPremier/SG_Shr/SG_Shr_Overview.pdf)」をご参照ください。

## SAP Concur サポート

### 提案ソリューションの移行

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 11 月 5 日 | 2022年03月11日 | 2022 年 3 月 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

すべての製品 | すべての Edition

#### 概要

3 月のリリースで、SAP Concur ソリューションは Solution Suggestions プラットフォームを SAP Continuous Influence – Improvement Requests プログラムに変更しました。

この変更により、サポート問合せ権限の保持者 (ASC) ユーザーが各 SAP Concur Customer Influence プログラムに関わる際に向上した操作性と単一の場所を提供します。

1. ConcurGov をお使いのお客様の場合、サポート ポータルの Solution Suggestions セクションが表示されなくなります。詳細については、お客様のアカウント マネージャーにお問い合わせください。

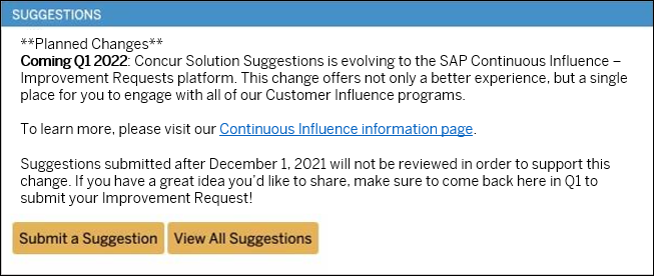
このプログラムについて詳しくは、「[SAP Continuous Influence Sessions](https://www.concurtraining.com/cnqr/continuous-influence-sessions)」をご参照ください。

##### 業務目的とユーザーへの利点

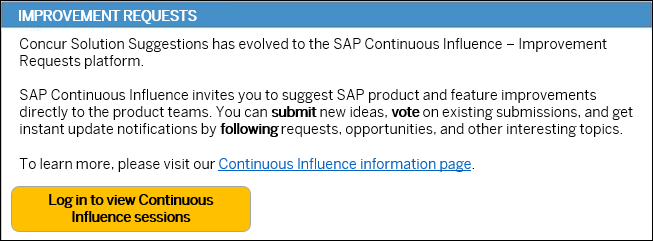
SAP Concur は、より多くの機能を備えた優れたツールの提供に加えて、改善リクエストの精査、検討、優先順位を決定する過程を改善しました。

#### ユーザーへの表示

**更新前**



**更新後**



#### 設定とアクティブ化

この変更は自動的に有効になります。その他の設定やアクティブ化は必要ありません。

## セキュリティ

### 一部の TLSv1.2 暗号が非サポートに（2022 年 2 月 1 日）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 8 月 13 日 | 2022 年 1 月 14 日 | 2022 年 2 月 1 日 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request | すべての Editions

#### 概要

2022 年 2 月 1 日以降、SAP Concur ソリューションは、次の TLSv1.2 暗号を使用する \*.concursolutions.com および \*api.concursolutions.com への接続のサポートを終了しました。

|  |  |
| --- | --- |
| Akamai/OpenSSL の暗号名 | IANA の暗号名 |
| AES256-GCM-SHA384 | TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384 |
| AES128-GCM-SHA256 | TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256 |
| ECDHE-RSA-AES256-SHA384 | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384 |
| ECDHE-RSA-AES128-SHA256 | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256 |
| ECDHE-RSA-AES256-SHA | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA |
| ECDHE-RSA-AES128-SHA | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA |

\*.concursolutions.com および \*api.concursolutions.com への接続が中断されないようにするために、運用を終了した暗号を使用するアプリケーションを介して \*.concursolutions.com または \*api.concursolutions.com に接続しているお客様およびパートナーは、アプリケーションを 2022 年 2 月 1 日までにサポートされている暗号にアップデートする必要があります。

##### 業務目的とユーザーへの利点

この更新により、SAP Concur 製品やサービスに必要なセキュリティが引き続き提供されます。

#### サポートされている暗号の確認

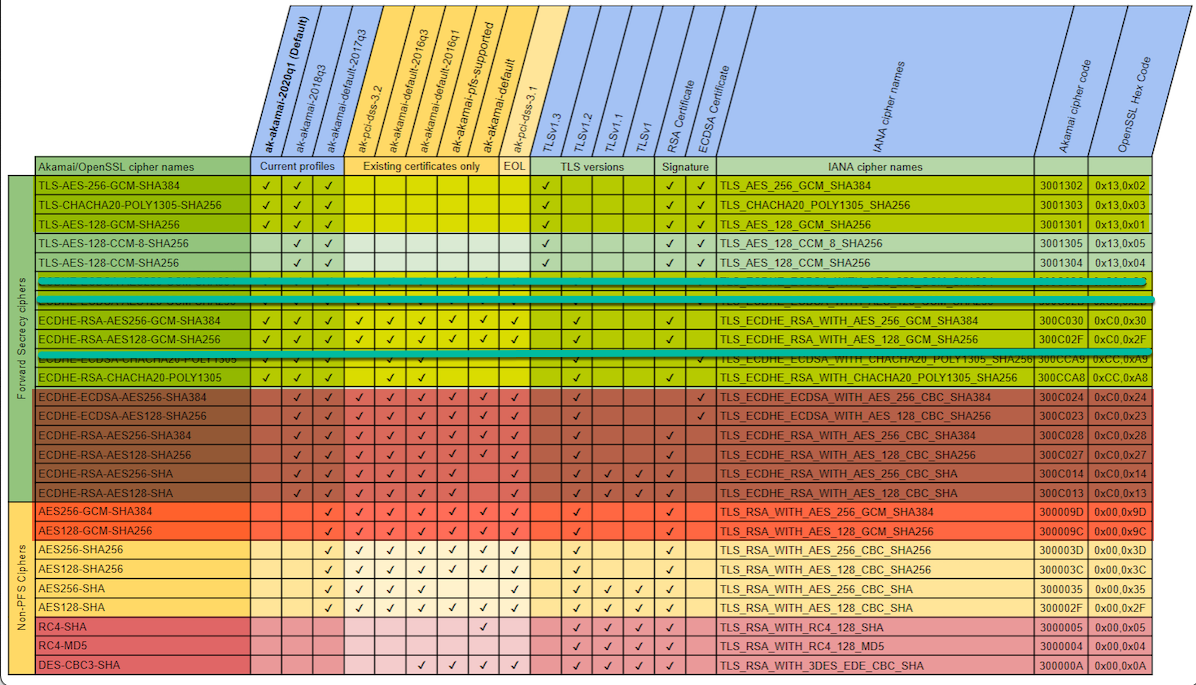
**Ak-akamai-2020q1** 暗号プロファイルに含まれている以下の暗号がサポートされています。

|  |  |
| --- | --- |
| Akamai/OpenSSL の暗号名 | IANA の暗号名 |
| TLS-AES-256-GCM-SHA384 | TLS\_AES\_256\_GCM\_SHA384 |
| TLS-CHACHA20-POLY1305-SHA256 | TLS\_CHACHA20\_POLY1305\_SHA256 |
| TLS-AES-128-GCM-SHA256 | TLS\_AES\_128\_GCM\_SHA256 |
| ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384 | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384 |
| ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256 |
| ECDHE-RSA-CHACHA20-POLY1305 | TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_CHACHA20\_POLY1305\_SHA256 |

1. お使いの暗号スイートにサポートされている暗号とサポートされていない暗号の両方が含まれている場合、Web ブラウザを介する \*concursolutions.com への接続は中断されません。接続を確立するプロセスで、\*concursolutions.com サーバーがお使いの暗号スイートのなかで最も安全な暗号を選択します。

以下の表の **ak-akamai-2021 (default)** 列で Akamai/OpenSSL の暗号名 と IANA の暗号名を相互参照することで、暗号スイートにサポートされている暗号が含まれていることを確認できます。

サポートされている暗号にはチェック マークが付いています。



#### 暗号のテスト

次の手順は、システム管理者が使用するためのものであり、上記の暗号のサポート廃止後、SAP Concur ソリューションに接続した際に暗号スイートの構成が適切に機能するかどうかをテストする場合に使用します。

この手順では、記載されている暗号のサポートがすでに廃止されているステージング環境に接続するために、システム管理者のローカル マシンを設定します。

手順の概要:

* akamai 運用環境の IP アドレスを取得します。
* akamai ステージング環境の IP アドレスを取得します。
* ローカルの Hosts ファイルを編集して、concursolutions.com への移動を akamai ステージング環境にリダイレクトします。
* concursolutions.com の接続をテストします。

##### 暗号スイートが適切に機能することを確認

1. akamai 運用環境の IP アドレスを取得する
2. www.concursolutions.com のネットワーク接続を確認します。

* Windows: **[コマンド プロンプト]** ウィンドウを開き、「Ping www.concursolutions.com」を入力してから **[Enter]** を押します。
* Mac: [ターミナル] を開き、「Ping www.concursolutions.com」を入力してから **[Enter]** を押します。

**応答例**

Pinging e7868.b.akamaiedge.net (23.46.104.197): 56 data bytes  
64 bytes from 23.46.104.197: icmp\_seq=0 ttl=50 time=125.070 ms  
64 bytes from 23.46.104.197: icmp\_seq=1 ttl=50 time=111.866 ms  
64 bytes from 23.46.104.197: icmp\_seq=2 ttl=50 time=111.967 ms  
64 bytes from 23.46.104.197: icmp\_seq=3 ttl=50 time=112.435 ms

1. 応答内で強調表示されたアドレスをコピーします。

**アドレスの例**

e7868.b.akamaiedge.net

1. akamai ステージング環境の IP アドレスを取得する
2. **[コマンド プロンプト]** または **[ターミナル]** ウィンドウで、コピーしたアドレスに ping を実行しますが、「akamaiedge」に「-staging」を追加して行います。

**Ping コマンドの例**

Ping e7868.b.akamaiedge-staging.net

**応答例**

Pinging e7868.b.akamaiedge-staging.net (104.76.225.252): 56 data bytes  
64 bytes from 104.76.225.252: icmp\_seq=0 ttl=50 time=118.809 ms  
64 bytes from 104.76.225.252: icmp\_seq=1 ttl=50 time=242.459 ms  
64 bytes from 104.76.225.252: icmp\_seq=2 ttl=50 time=112.145 ms  
64 bytes from 104.76.225.252: icmp\_seq=3 ttl=50 time=114.994 ms

1. 応答内で強調表示された IP アドレスをコピーします。

**IP アドレスの例**

104.76.225.252

1. ローカル Hosts ファイルを更新する

**MAC:**

1. [ターミナル] を開きます。
2. 「sudo nano /private/etc/hosts」を入力してから、**[Enter]** を押します。



要求された場合、管理者パスワードを入力します。

1. ファイルの先頭のコメントの後ろに、ステップ 4 でコピーした IP アドレスを追加し、その後ろに「www.concursolutions.com」を追加します。
2. コメントの前にはハッシュタグ (#) が付いていますが、エントリにハッシュタグを含めないでください。

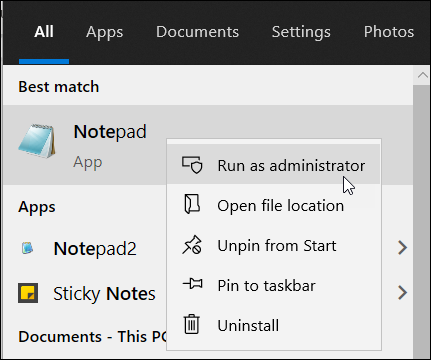
**エントリの例**

104.76.225.252 [www.concursolutions.com](http://www.concursolutions.com)

1. ファイルを保存 (Ctrl-o) し、ターミナル (Ctrl-x) を閉じます。

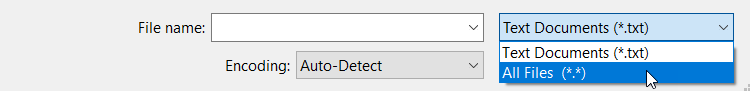
**Windows:**

1. Windows 検索バーに「メモ帳」を入力し、検索結果で [メモ帳] を右クリックします。次に、**[管理者として実行]** をクリックして、管理者としてメモ帳を起動します。



要求された場合、**[ユーザー アカウント制御]** ウィンドウで **[はい]** をクリックします。

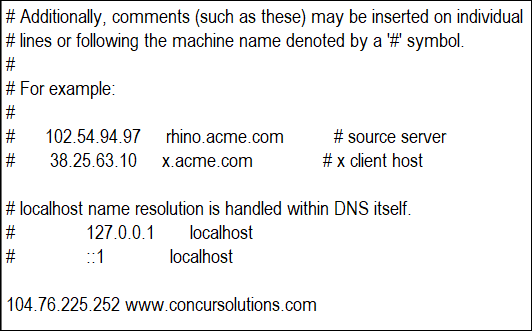
1. メモ帳で **[ファイル]** をクリックしてから、**[開く]** をクリックします。
2. C:\\Windows\System32\drivers\etc に移動します。次に、**[ファイル名]** フィールドの右側のメニューから **[すべてのファイル (\*.\*)]** を選択します。



1. hosts ファイルを開きます。
2. ファイルの先頭のコメントの後ろに、ステップ 4 でコピーした IP アドレスを追加し、その後ろに「www.concursolutions.com」を追加します。
3. コメントの前にはハッシュタグ (#) が付いていますが、エントリにハッシュタグを含めないでください。

**エントリの例**

104.76.225.252 www.concursolutions.com



1. **[ファイル]** メニューで **[保存]** をクリックします。
2. ローカル マシンから \*concursolutions.com に接続する

\*concursolutions.com への接続を akamai ステージング環境にするようにローカル hosts ファイルを設定したら、テストする必要のあるメソッドを使用してローカル マシンから \*concursolutions.com に接続します。

1. \*concursolutions.com の接続テストでは、システム管理者は API 呼び出しや接続されたアプリケーションを介して、またはブラウザからサインイン ページに移動し、SAP Concur ユーザーとしてサインインして行う必要がある場合があります。

#### 設定とアクティブ化

\*.concursolutions.com および \* api.concursolutions.com への接続が中断されないようにするために、サポートされていない暗号を使用するアプリケーションを 2022 年 2 月 1 日までにサポートされている暗号を使用するようにアップデートする必要があります。

1. お使いの暗号スイートにサポートされている暗号とサポートされていない暗号の両方が含まれている場合、Web ブラウザを介する \*concursolutions.com への接続は中断されません。接続を確立するプロセスで、\*concursolutions.com サーバーがお使いの暗号スイートのなかで最も安全な暗号を選択します。

## 推奨環境

### Internet Explorer 11 のサポートの変更

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 6 月 11 日 | 2022年03月11日 | 2022 年 1 月 14 日 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request、Analysis/Intelligence | すべての Editions

#### 概要

2022 年 1 月 1 日、SAP Concur は、Internet Explorer 11 (IE 11) のサポートから移行を開始しました。この変更は、他の SAP ソリューション、業界のベスト プラクティス、および IE 11 に関する Microsoft のライフサイクル ポリシーに沿ったものです。

1. Cognos 11 がすべての Analysis および Intelligence のお客様に公開されるまで、サポートを提供し、Cognos 10 および IE 11 に関連する問題の調査の例外を許可します。詳細については、「[Cognos 11 ユーザー インターフェースの更新 FAQ](https://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_Cognos_11_UI_Update.pdf)」を参照してください。

2022 年 1 月 1 日以降、SAP Concur 開発チームは、IE 11 を念頭に置いた、新機能、ユーザー インターフェースの機能強化、セキュリティまたはバグ修正を行いません。時間の経過により、新機能と既存の機能が IE 11 で正しく機能しなくなる可能性があります。

IE 11 を使用している場合、SAP Concur ユーザーのアクセスはブロックされません。ユーザーは引き続き SAP Concur ソリューションにサインインすることができます。ただし、ユーザーが SAP Concur ソリューションを引き続き正常かつ安全に使用できるようにするために、SAP は IE 11 での SAP Concur ソリューションの使用を許可せず、より最新のサポートされているブラウザに移行することをお勧めします。

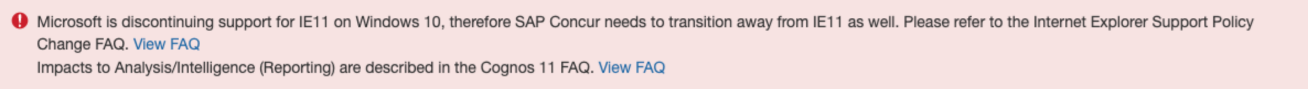
##### 業務目的とユーザーへの利点

この変更により、SAP は最新のブラウザ イノベーションの採用を促進し、より強力なセキュリティ体制を提供できるようになります。

#### ユーザーへの表示

Internet Explorer 11 を使用して concursolutions.com に移動すると、次のメッセージが記載されたバナーが表示されます。

「Microsoft は Windows 10 の IE11 のサポートを終了しているため、SAP Concur も IE11 から移行する必要があります。[[FAQ を表示](https://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_IE_11_Support_Policy_Change.pdf)] から、Internet Explorer のサポート ポリシーの変更に関する FAQ をご参照ください。   
Analysis/Intelligence（分析レポート）への影響については、[[FAQ を表示](https://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_Cognos_11_UI_Update.pdf)] から Cognos 11 の FAQ をご覧ください。



バナーの右上隅の **X** をクリックすると、メッセージを一次的に非表示にすることができます。

1. concursolutions.com の機能性クッキーの受け入れを選択していないユーザーには **X** は表示されず、メッセージを非表示にできません。メッセージを非表示にするには、機能性クッキーを一次的に有効にして、Web ページを更新し、メッセージを非表示にしてから、機能性クッキーを無効にします。  
     
   機能性クッキーを有効および無効にする方法については、「[Cookie Preferences and User Consent](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Docs/FactSheets/Cookie_Prefs.pdf)」ファクト シートをご参照ください。

#### 設定とアクティブ化

設定のステップはありません。この変更は自動的に行われます。

詳しくは、「[Internet Explorer 11 Support Policy Change FAQ](https://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_IE_11_Support_Policy_Change.pdf)」をご参照ください。

## テスト エンティティ | 運用サンドボックス環境

### \*\* 進行中 \*\* 未移行の [最近使用されたもの] リスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 9 月 | 2022 年 1 月 21 日 | 2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Expense、Invoice、Request | Professional

#### 概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、運用サンドボックス環境 (PSE) エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、PSE エンティティを移行する予定です。

詳細は、「[SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ](http://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_Cloud_Hosting_Strategy.pdf)」をご参照ください。

この移行をサポートするために SAP Concur が行う必要があるアーキテクチャ上の変更により、PSE を新しい環境に移行する際、テスト エンティティ内の [最近使用されたもの] (MRU) の一部のリスト項目は移行されません。

1. MRU リストはユーザーによる最近行われた選択が含まれます。このリストは、ユーザーがさまざまなメニューやその他の定義済みリストを操作していくなかで生成されますが、PSE が新しい環境に移行された後は再生成されることになります。
2. この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成された PSE エンティティに適用されます（今後に予定）。

##### 業務目的とユーザーへの利点

AWS では、PSE は運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンス レベルで利用できます。

#### ユーザーへの表示

移行後、移行以前に生成された [最近使用されたもの] リストの一部は空になります。このリストは、PSE の通常の使用で自動的に再生成されます。

以下のスクリーンショットは、移行に伴い影響を受ける MRU リストの例を示しています。

**Concur Expense で新しい経費を作成する**



**Concur Request での新しいセグメント**



#### 設定とアクティブ化

この変更は、PSE エンティティが新しい AWS 環境に移行する際に発生します。設定やアクティブ化を行う必要はありません。[最近使用されたもの] リストはエンティティの通常ユーザーで再生成されます。

### \*\* 進行中 \*\* 運用サンドボックス環境のログイン更新

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 8 月 | 2022 年 1 月 21 日 | 2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Expense、Invoice、Request | Professional

#### 概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、運用サンドボックス環境 (PSE) エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、PSE エンティティを移行する予定です。

詳細は、「[SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ](http://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_Cloud_Hosting_Strategy.pdf)」をご参照ください。

現在、テスト エンティティと運用エンティティは別の環境にあるため、同一のログイン ID を保持することができます。今後テスト エンティティと運用エンティティを同じ AWS 運用環境に移行させる予定があり、各ログイン ID は一意である必要があることから、同一のログイン ID を保持できなくなります。

この更新に関する操作は必要ありませんが、PSE の特定のエリアで変更が表示されることから、お客様に内容を把握していただきたいと考えています。この変更を考慮し、ログイン ID が一意であることを保証し、既存の運用ログイン ID と競合しないようにするため、SAP Concur は移行時およびユーザー作成時の両方で PSE のすべてのログイン ID に「.uat」ドメインを追加します。たとえば、[johnsmith@123.com](mailto:johnsmith@123.com) の場合は [johnsmith@123.com.uat](mailto:johnsmith@123.com.uat) になります。

* **重要**: SAP Concur の自社データ センターにある現行の運用環境のログイン ID に行われる変更はありません。  
    
  この処理は、移行時とユーザー作成処理時の両方で、バックグラウンドで行われます。この処理は SAP Concur が管理するため、ユーザーがログイン ID を変更する必要は**ありません**。   
    
  移行ユーザーの場合は、AWS に移行する以前に使用していた実装 URL とログイン ID をそのまま使用できます。   
    
  新規のお客様の場合は、ドメインを追加したログイン ID（たとえば、[johnsmith@123.com.uat](mailto:johnsmith@123.com.uat)）と運用 URL を使用します。

この変更により、運用ログイン ID との競合を防ぐことができます。

**ユーザー作成:** さらに、運用時とまったく同じ従業員インポート ファイルを使用できます。.uat ドメインは、FTP インポート、Excel インポート、エンティティ復元など、ユーザー作成のあらゆる要素にも適用されます。

**抽出**: 勘定抽出や財務統合のドキュメント生成時、SAP Concur はユーザー作成時に追加されたログイン ID から .uat ドメインを自動的に削除します。これにより、追加されたドメインの削除など、お客様には一切アクションを必要とすることなく、実際的な抽出を生成できます。

1. この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成された PSE エンティティに適用されます（今後に予定）。

##### 業務目的とユーザーへの利点

AWS では、PSE は運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンス レベルで利用できます。

#### 設定とアクティブ化

これらの変更は自動的に有効になります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。

### \*\* 進行中 \*\* PSE メール照合に必要な一意のアドレス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 8 月 | 2021 年 1 月 21 日 | 2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Expense、Invoice、Request | Professional

#### 概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、運用サンドボックス環境 (PSE) エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、PSE エンティティを移行する予定です。

詳細は、「[SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ](http://assets.concur.com/concurtraining/cte/en-us/FAQ_Cloud_Hosting_Strategy.pdf)」をご参照ください。

##### PSE を AWS 運用環境に移行する際、既存の PSE の照合済メールは新しい PSE には引き継がれません。このため、今後の PSE で照合済メール機能をテストする場合、運用エンティティで設定されたメールと異なるメールを従業員が使用することをお勧めします。既存の PSE のメールは運用環境ですでに照合済である可能性が高く、別のエンティティでは照合できないため、この処理が必要になります。

ユーザーのメール アドレスについては、領収書認識サービスがユーザーのメール アドレスを検証するため、メール アドレスの 1 つのインスタンスのみをユーザー アカウントに関連付けることができます。運用環境でテストを実施するには、運用ユーザー アカウントと現在関連付けられていない代替メール アドレスを使用する必要があります。該当するユーザー プロファイルにすでに関連付けられているメール アドレスを使用して運用環境でテスト アカウントを設定した場合、検証処理が失敗になります。

1. この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成された PSE エンティティに適用されます（今後に予定）。

##### 業務目的とユーザーへの利点

AWS では、PSE は運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンス レベルで利用できます。

#### 管理者への表示

##### 変更前 – 既存の PSE の既存のメール



##### 変更後 – 新しい / 今後の PSE の新しいメール



#### 設定とアクティブ化

これらの変更は自動的に有効になります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。

## Web サービス管理者

### アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードの文字数の要件の更新

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 1 月 14 日 | 2022年03月11日 | 2022 年 2 月 28 日 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Expense、Request、Web サービス | Professional & Standard

この変更は、安全な認証を維持する SAP Concur の継続的な取り組みの一環です。

#### 概要

新しいセキュリティ要件を満たすには、**[アプリケーション コネクタ]** ページでアプリケーション コネクタに関連付けられているユーザー名とパスワードの文字数を 10 文字以上 50 文字以内にする必要があります。

一部のお客様には現在、これらのパラメータを満たさないユーザー名とパスワードが設定されています。

2022 年 2 月 28 日に、SAP Concur では文字数について 10 文字以上 50 文字以内を必須とするようになりました。この変更前にユーザー名およびパスワードが更新されない場合、SAP Concur ソリューションの一部の要素が機能を停止する可能性があります。例として、通知を使用している場合にワークフロー ステップが完了しない、LEU ウィンドウが開かない、フェッチ リストを使用するフィールドに結果が表示されない、などが挙げられます。

アプリケーション接続によるコールアウトの中断が発生し、それに続いて一部のエンド ユーザーのタスクが中断されるような状況を回避するには、この変更を実装する前に、これらの要件を満たさないアプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードを更新する必要があります。

アプリケーション接続のユーザー名とパスワードは、組織管理者または Web サービス管理者のロールを持つ管理者が更新できます。

1. Standard のエンティティを使用している管理者の場合、Concur Expense の「**管理可能**」のアクセス許可を持つユーザーは Web サービス管理者のロールを持っています。

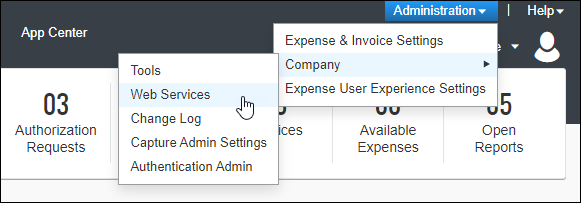
##### 業務目的とユーザーへの利点

パスワードとユーザー名の文字数制限を適用すると、アプリケーション コネクタを介して行われるコールアウトのセキュリティ標準が向上します。

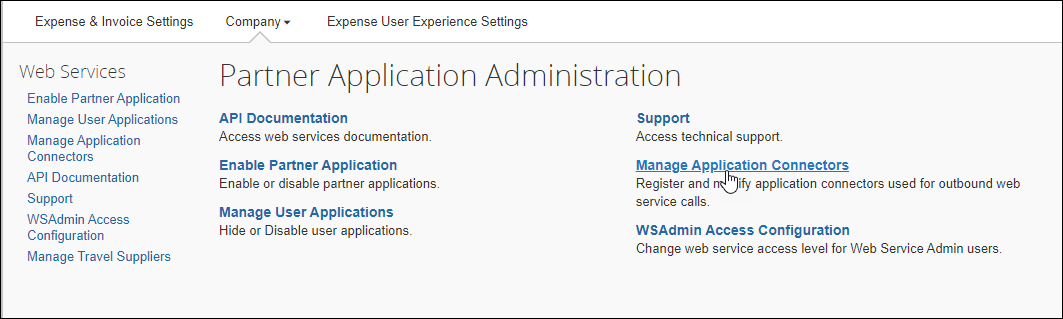
#### 設定とアクティブ化

アプリケーションコ ネクタのユーザー名とパスワードは、**[アプリケーション コネクタを管理]** ページで設定できます。

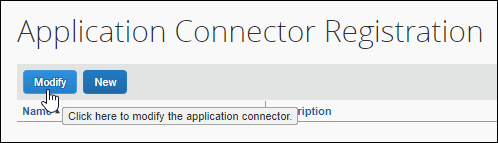
1. アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードを変更するには、次の手順に従います。
2. **[管理] > [会社] > [Web サービス]** をクリックします。



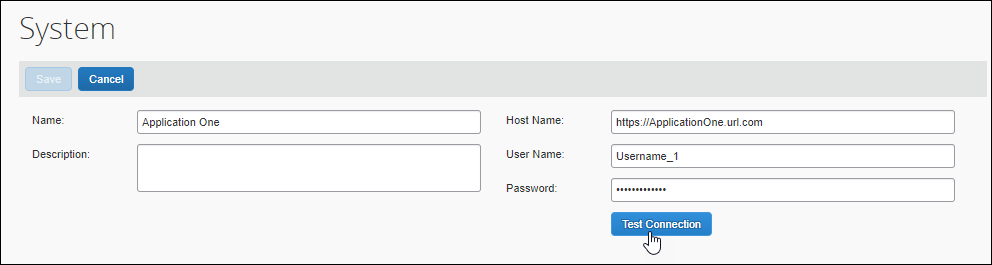
1. **[アプリケーション コネクタを管理]** をクリックします。



1. 更新するアプリケーション コネクタを選択し、**[変更]** をクリックします。



1. 新しいユーザー名とパスワードを入力し、**[テスト接続]** をクリックします。



1. **[保存]** をクリックします。
2. アプリケーション コネクタのユーザー名とパスワードを更新した後、アプリケーション コネクタをコールアウト サービスに使用する前に、**[テスト接続]** をクリックして変更を確認する必要があります。

詳細については、SAP Concur Developer Center の「[Callouts and Application Connectors](https://developer.concur.com/api-reference/callouts/callouts-application-connectors.html#modifying-app-connector-reg)」のドキュメントを参照してください。

# 今後の変更予定

以下の機能と変更は、今後のリリースで提供予定です。ただし実装を延期（あるいは完全に取り消し）する権利は SAP Concur が所有するものとします。

## FAX 機能

### \*\* 変更予定 \*\* FAX 機能の廃止

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2021 年 11 月 | 2022 年 1 月 14 日 | 2022 年 10 月 1 日 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Expense、Invoice | Professional & Standard

#### 概要

2022 年 10 月 1 日に、Concur Fax 機能が廃止されます。

1. Fax 機能は 2020 年に運用終了しています。2020 年 7 月 15 日以降に導入したお客様はこの機能をご利用いただけません。アクセス可能なお客様のうち、この機能を定期的にご利用されていたのはごくわずかで、そのなかでも使用頻度は着実に減少しています。

##### 業務目的とユーザーへの利点

Fax 機能の削除により、SAP Concur ソリューションのセキュリティ、パフォーマンス、拡張性が向上します。

また、Concur Fax 機能がファイルを添付するのは経費や請求書のヘッダー レベルに限られています。そのため、Fax 機能を使用するお客様の場合、行項目レベルのイメージや添付ファイルのみに適用される最新のイノベーションを利用することができません。

#### ユーザーへの表示

Concur Expense や Concur Invoice で送信票を印刷するオプションが表示されなくなるほか、経費や請求書に添付するためにイメージを SAP Concur に Fax する機能がなくなります。

#### 設定とアクティブ化

この変更は自動的に実施されます。設定は必要ありません。

この変更に関する追加情報は、今後数か月間にわたって公開される予定です。

## ヘルプ メニュー

### \*\* 変更予定 \*\* ヘルプ メニュー下のリソースを集約

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 2 月 18 日 | -- | 2022 年 5 月 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

すべての製品 | すべての Edition

#### 概要

SAP では、5 月に SAP Concur ソリューションの **[ヘルプ]** メニューを更新し、ヘルプ リソースへのアクセスを単一の場所に集約する予定です。

##### 業務目的とユーザーへの利点

この変更では、ヘルプ リソースへのアクセスを一箇所で提供することで使いやすさが向上し、SAP Concur のユーザー インターフェースが簡素化されます。

#### ユーザーへの表示

**[ヘルプ]** メニューに新しいオプションが表示されるようになります。たとえば、[エンド ユーザー向けのユーザー支援] が有効化されている場合は、**[ヘルプ]** メニューに [エンド ユーザー向けのユーザー支援] コンテンツにアクセスするリンクが表示されます。

#### 設定とアクティブ化

この変更は自動的に行われます。

## プロファイル設定

### \*\* 変更予定 \*\* 自分のプロファイル、ホーム ページ、およびプロファイル メニューの変更

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 1 月 21 日 | 2022 年 2 月 18 日 | 2022 年から継続中 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request、Mobile | Professional & Standard

#### 概要

SAP Concur は UI の複数のページに変更を実装する予定です。この変更は 2022 年第 2 四半期から徐々に実装されます。

これらの変更は、SAP Concur ソリューションで出張を手配し、情報を入力する際に、ジェンダーがノンバイナリーのユーザーが矛盾のない情報を入力できるようにすることで、「[ジェンダーの多様性を支援する SAP の取り組み](https://www.sap.com/about/company/diversity.html)」を反映します。この変更には以下の内容が含まれます。

* SAP Concur ホーム ページの挨拶のテキストが削除されます。
* **[自分のプロファイル – 個人情報]** ページの **[ニックネーム]** フィールドは、**[ニックネーム]** から **[表示する名前]** に変更されます。
* **[自分のプロファイル – 個人情報]** ページの **[敬称]** リストに新しいオプションの [Mx] が追加されます。
* ユーザーが **[プロファイル設定]** で **[自分のプロファイル – 個人情報]** ページに希望する名前を追加すると、その名前と姓が SAP Concur の **[プロファイル]** メニューおよび Mobile アプリのメニューに表示されます。
* ユーザーが **[出張の優先設定]** の **[TSA Secure フライト]** セクションでノンバイナリー ジェンダーを選択できるように、新しいオプションが追加されます。
* **従業員の出張分離インポート 350** ファイルの **[ニックネーム]** フィールドは、**[ニックネーム]** から **[表示する名前]** に変更されます。
* **従業員インポート** ファイルの **[ニックネーム]** フィールドは、[ニックネーム] から **[表示する名前]** に変更されます。

##### 業務目的とユーザーへの利点

これらの変更により、以下が可能になります。

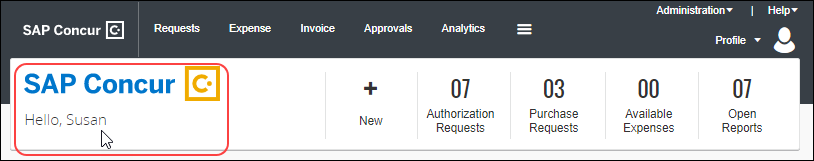
* ユーザーのアイデンティティーと一致する情報を SAP Concur ソリューションに入力できます。
* SAP Concur ソリューションは、ユーザーが希望する名前を表示できます。
* SAP Concur ソリューションの情報をユーザーの政府発行の ID と一致させます。
* SAP Concur ソリューションを介して購入した航空券などの渡航文書にその他の必要書類と一致する情報を表示します。

#### ユーザーへの表示

SAP Concur では、これらの変更を 2022 年第 2 四半期から徐々に実装する予定です。実装されると、ユーザーには以下の変更が表示されます。

##### Web UI のページ ヘッダー

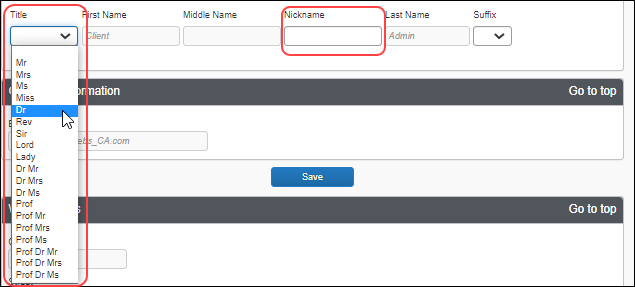
SAP Concur にサインインすると、現在、Concur ホーム ページで「ようこそ<名>様」という挨拶が表示されます。ユーザー アカウントの **[名]** フィールドの名前が挨拶に表示されます。



これらの変更が実装されると、この挨拶が表示されなくなります。

##### [自分のプロファイル – 個人情報] の現在の表示

現在、ユーザーには **[敬称]** フィールドの名前プレフィックスのリストおよび **[ニックネーム]** フィールドが表示されます。

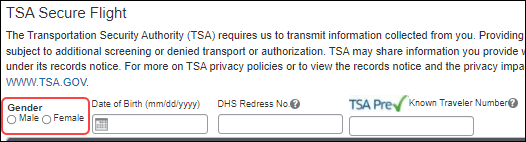


これらの変更が実装されると、**[ニックネーム]** フィールドの代わりに **[表示する名前]** フィールドが表示されます。

また、ジェンダーのノンバイナリーに関する新しいオプションである **[Mx]**（発音は「Mix」）が **[敬称]** フィールドのリストに追加されます。

##### [出張の優先設定 – TSA Secure フライト] の現在の表示

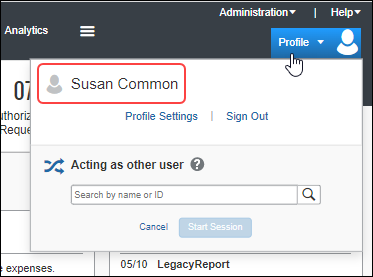
現在、ユーザーには **[出張の優先設定]**.の **[TSA Secure フライト]** セクションの **[性別]** に 2 つのオプションが表示されます。



変更が実装されると、**[性別]** の下に非公開 (x) と未指定 (u) の 2 つの追加オプションを使用できるようになります。

##### 現在の表示の Web UI のプロファイル メニュー

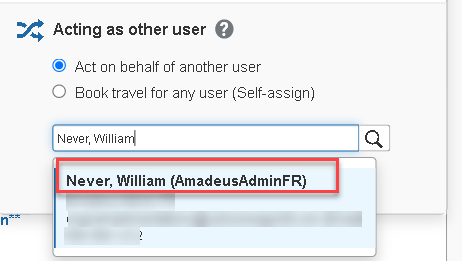
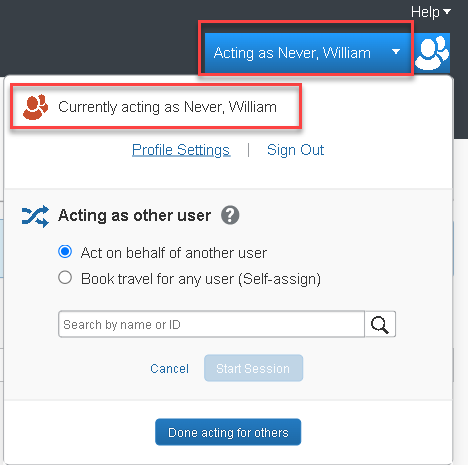
現在、**[プロファイル]** をクリックすると、ユーザー アカウントのそれぞれのフィールドからユーザーの名と姓が表示されます。



これらの変更が実装されると、ユーザーが希望する名前を **[プロファイル設定]** の **[プロファイル – 個人情報]** ページで指定した場合、Web バージョンの SAP Concur ソリューションで **[プロファイル]** をクリックすると、希望する名前と姓が表示されます。

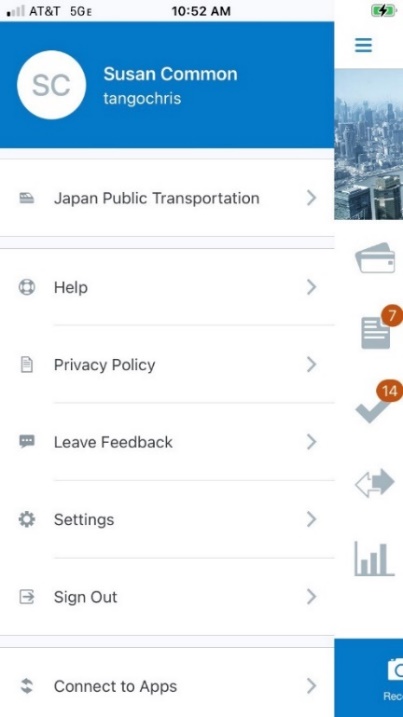
1. ニックネームや希望する名前を指定していない場合は、ユーザー アカウント情報の姓と名が表示されます。

また、たとえば、出張手配者や代理人など、別のユーザーの代理として操作するアクセス許可を持つユーザーが別のユーザーの代理として検索を行い、操作する場合、検索フィールドおよび **[プロファイル]** メニューの上部に代理をしているユーザーの希望する名前が表示されます。

##### 現在の表示 – Mobile アプリ

現在、ユーザーのユーザー アカウントのそれぞれのフィールドから姓と名が Mobile アプリのメニューに表示されています。

****

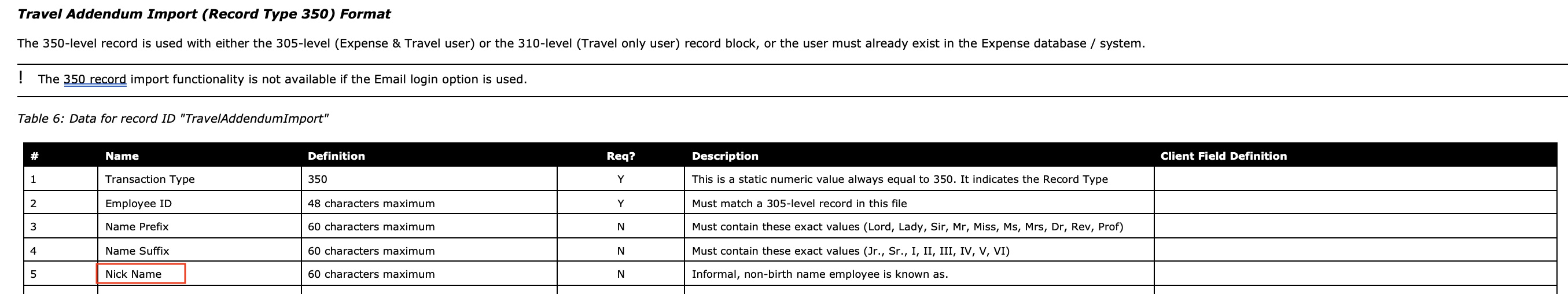
これらの変更が実装されると、Mobile アプリ メニューの上部に名前が表示されなくなります。

#### 管理者への表示

インポート ファイルおよび抽出ファイルの [ニックネーム] フィールドの変更が表示されます。

##### 従業員出張分離インポート 350

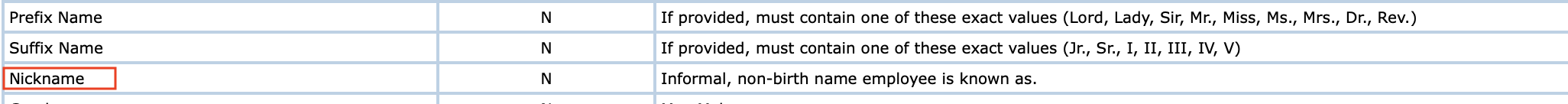
管理者の場合、現在、フィールド 5 に **[ニックネーム]** が表示されています。



これらの変更が実装されると、フィールド 5 に **[表示する名前]** が表示されるようになります。

##### ユーザー インポート

現在、管理者には **[ニックネーム]** が表示されます。



これらの変更が実装されると、**[表示する名前]** が表示されるようになります。

#### 設定とアクティブ化

これらの変更は自動的に行われます。新しいオプションの追加後に、**[自分のプロファイル – 個人情報]** ページで情報を更新する必要がある場合があります。

これらの変更について、詳しくは今後のリリース ノートでご案内します。

## シングル サインオンの管理

### \*\* 変更予定 \*\* SSO サインイン オプションを非表示にするためのチェックボックス

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 2 月 11 日 | -- | 2022 年第 2 四半期 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard

#### 概要

今後のリリースで、SAP Concur は **[IdP メタデータの追加]** ダイアログにチェックボックスを追加する予定です。このチェックボックスにより、SSO 管理者は、指定されている SSO サインイン方法を concursolutions.com サインイン ページでサインイン オプションとしてユーザーに表示しないようにすることができます。

1. ユーザーは、会社の指定に従い、他のナビゲーション パスの方法でサインインできます。

##### 業務目的とユーザーへの利点

このチェックボックスを追加することで、SSO 管理者は SAP Concur ソリューションへのエンドユーザーのサインインを詳細に管理することができます。

#### SSO 管理者への表示

**[シングル サインオンの管理]** ページに移動し、**[IdP メタデータ]** セクションで **[追加]** をクリックすると、**[IdP メタデータの追加]** ダイアログの下部に新しいチェックボックスが表示されます。

#### 設定とアクティブ化

**[IdP メタデータの追加]** ページに自動的にチェックボックスが追加されます。

1. この変更について、詳しくは今後のリリース ノートでご案内します。

### \*\* 変更予定 \*\* IdP メタデータへの URL の設定オプションを削除

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 2 月 11 日 | 2022 年 2 月 18 日 | 2022 年第 2 四半期 |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard

#### 概要

今後のリリースで、SAP Concur は **[IdP メタデータの追加]** ダイアログから **[IdP のメタデータへのリンクの設定]** フィールドを削除する予定です。

##### 業務目的とユーザーへの利点

**[IdP のメタデータへのリンクの設定]** フィールドを使用するために、お客様はまずサポート チケットを発行して、URL を SAP Concur の許可リストに追加する必要があります。これらの追加ステップは、お客様の SSO 管理プロセスをセルフサービス化するという目標をサポートしていません。

#### SSO 管理者への表示

**[シングル サインオンの管理]** ページに移動し、**[IdP メタデータ]** セクションで **[追加]** をクリックすると、**[IdP メタデータの追加]** ダイアログに **[IdP のメタデータへのリンクの設定]** フィールドが表示されなくなります。

1. ただし、**[XML ファイルのアップロード]** をクリックすれば、IdP メタデータをアップロードできます。

#### 設定とアクティブ化

**[IdP メタデータの追加]** ページから自動的にフィールドが削除されます。

1. この変更について、詳しくは今後のリリース ノートでご案内します。

## ユーザー支援

### \*\* 変更予定 \*\* SAP Enable Now のサポート

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報の初回公開日 | 最終更新日 | 機能のリリース予定日 |
| 2022 年 2 月 11 日 | -- | 今後のリリース |
| このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。 | | |

**対象製品:**

Travel、Expense、Invoice、Request | Professional & Standard

#### 概要

今後のリリースで、SAP は SAP Concur ソリューションとの SAP Enable Now のサポートを追加する予定です。

##### 業務目的とユーザーへの利点

この変更により、SAP Enable Now を使用して、ユーザー支援コンテンツを作成できるようになり、ユーザー導入率が高まり、SAP Concur ソリューションでの作業効率が向上します。

#### 設定とアクティブ化

SAP Enable Now のサポートが SAP Concur ソリューションに追加されると、SAP Concur ソリューションでユーザー支援が有効であるお客様は、SAP Concur **[ユーザー支援]** ページで SAP Enable Now を有効化または無効化できるようになります。

1. この機能について、詳しくは今後のリリース ノートでご案内します。

# お客様へのお知らせ

## アクセシビリティ

### アクセシビリティの強化

SAP は、現在の Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) に合わせて変更を実装します。SAP Concur ソリューションに対するアクセシビリティ関連の変更については、四半期ごとに公開しています。四半期ごとの更新は、「[アクセシビリティの更新](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/RN-monthly-Access/_RN_access_client.htm)」（英語のみ）ページで確認できます。

## サブプロセッサ

### SAP Concur の非提携サブプロセッサ

非提携サブプロセッサのリストについては、「[SAP Concur サブプロセッサのリスト](https://support.sap.com/content/dam/support/en_us/library/ssp/my-support/trust-center/sap-tc-04-0011.pdf)」をご参照ください。

ご不明な点やお伝えしたいことがございましたら、[Privacy-Request@Concur.com](mailto:Privacy-Request@Concur.com) までお問い合わせください。

## サポートされているブラウザ

### サポートされているブラウザおよびサポートの変更

サポートされているブラウザ、およびサポートされているブラウザに予定されている変更については、「[Concur Travel & Expense Supported Configurations](http://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Docs/Z_SuppConfig/Supported_Configurations_for_Concur_Travel_and_Expense.pdf)」ガイドをご参照ください。

ブラウザのサポートに変更が予定されている場合、変更に関する情報が[製品共通の変更のリリース ノート](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/RN_shared_planned/_client_shared_RN_all.htm)（[日本語](https://www.concurtraining.com/customers/tech_pubs/Current_jp/ReleaseNotes_Shared/_client_shared_RN_all-jp.htm)）でも提供されます。

# リリース ノートおよびその他の技術文書

## オンライン ヘルプ

ユーザーは誰でもオンライン ヘルプから、または直接 SAP サポート ポータル上でリリース ノート、設定ガイド、ユーザー ガイド、管理者向けのサマリー、月次のブラウザ認証、推奨環境、およびその他のリソースにアクセスすることができます。

お使いの製品に関連する文書一式を確認するには、アプリの **[ヘルプ]** メニューのリンクを使用するか、SAP ヘルプ ポータル (https://help.sap.com) で SAP Concur 製品（Concur Expense、Concur Invoice、Concur Request、または Concur Travel） を検索します。

## SAP Concur サポート ポータル - 指定されたユーザー

Concur サポート ポータルのリリース ノート、ウェビナー、および技術文書にアクセスしてください。

適切なアクセス許可がある場合は、**[ヘルプ]** メニューに **[サポートへのお問い合わせ]** が表示されます。クリックして SAP Concur サポート ポータルにアクセスし、**[リソース]** をクリックしてください。

* リリース ノートや技術文書にアクセスするには **[リリース / 技術情報]** をクリックしてください。
* 録画や配信中のウェビナーを見るには、 **[ウェビナー]** をクリックします。



© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE または SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。

本書に記載される SAP およびその他の SAP 製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP SE（または SAP の関連会社）の商標または登録商標です。商標に関する詳細や通知については、http://global12.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx をご覧ください。

SAP SE およびその流通業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、ほかのソフトウェア業者の専有ソフトウェア コンポーネントが含まれています。

製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明または保証はなく、情報提供のみを目的として、SAP SE または SAP の関連会社によって提供され、SAP SE またはその関連会社はこれら文書に関する誤記や脱落に対する責任を負うものではありません。SAP SE または SAP の関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE またはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、および / またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE またはその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。